



土岐市指定無形文化財認定書授与式

12月20日(金)

土岐市指定無形文化財に「白磁・青白磁の技法」の保持者として塚本満さんが、「黄瀬戸の技法」の保持者として林恭介さんが認定されました。この日は認定書の授与式が行われ、塚本さんは「伝統を継続していく力が大切。今後も気候や風土に培われた作陶をしていきたい」と、林さんは「黄瀬戸の粋の中でどれだけ自己表現できるかということに力を入れていきたい」と述べられました。写真(左) 塚本満さん (右) 林恭介さん



おばあちゃんたちと楽しく遊んだよ

1月8日(水)

肥田児童センターに通う児童と浅野シルバースターズの方々との交流会が、同センターで行われました。参加者はお正月に関する紙芝居を見た後、児童館職員手作りのゲーム「ターゲットプレイシート(写真)」などで遊び、親睦を深めました。そして、無病息災と長生きを願ってぜんざいをいただき、一足早いお鏡開きを楽しんでいました。



妻木小学校140年の歴史展

1月17日(金)

明治6年に妻木小学校の前身である「博明舎」が創建され、今年度140周年を迎えました。これを記念して、妻木公民館では歴史展を開催しています(2月28日まで)。当時の教科書や寺子屋日記録、通知表、卒業証書などが展示されているほか、明治時代から現在までの卒業生の卒業写真など約310点が飾られています。訪れた人は懐かしそうに当時の思い出を語り合ったりして、140年の歴史の重みを感じているようでした。



誰かではなく、自分が

1月19日(日)

地域の防災訓練や救援活動で中心となって活躍する「防災リーダー」の養成講座が北防災センターで開催され(全3回)、市内在住・在勤者41人が参加しました。この講座では、救助技術や災害気象情報、災害医療など幅広く学ぶほか、避難所運営シミュレーションなどを行います。参加者それぞれが「自分の地域ではどうしたらいいのか」を考えながら受講し、地域の防災の担い手として必要な知識と技術の習得に励みました。



心地よい緊張感の中で

1月11日(土)

毎年恒例の「こども百人一首大会」が泉西公民館で開催され、泉町の小・中学生たちで構成する29チーム・約120人が参加しました。

競技は、4人1組(補欠を入れて5人)のチーム対抗によるトーナメント戦で競い合いました。選手たちは、誰もが読み手の声と札に集中。上の句で取る猛者も多く、白熱した戦いを繰り広げました。

競技の合間には白玉ぜんざいが振る舞われるなど、子どもたちは地域の新春の伝統行事を楽しみました。



Voice 優勝チーム「白玉ぜんざい 改」
2年連続で優勝することができてうれしいです。決勝戦は僅差での勝利でした。始めは焦ったけれど、楽しんでやることができたので良かったと思います。



時代を担う新成人の門出

1月12日(日)

成人式典が文化プラザで開催され、新しく大人の仲間入りをした519人が出席しました。式典の進行は新成人の代表12人によるもので、中学校生活を振り返るスライドショーの上映や、中学校時代の恩師へのインタビューなどが企画されました。恩師からは「みんなは地域の大人に愛されて成長できた。これからはそんな大人の仲間になる。立派な大人になってください」など温かい激励の言葉が贈られました。

